

令和5年1月13日

令和4年度まちのデータ研究室 第4回「成果発表会」のお知らせ

香川大学ではこれまで情報通信交流館（e-とぴあ・かがわ）、日本電気株式会社、高松市、スマートシティたかまつ推進協議会などと連携し、地域住民主導でのデジタル技術を活用した地域課題解決を推進することを目的とした大学・地域共創イベント「まちのデータ研究室」を運営して参りました。

この度、研究チーム（地域住民グループ）による地域アプリ開発研究の成果発表会を開催いたします。報道機関におかれましては成果発表会にお越しいただき、本イベントを通じて研究チームがデザインした地域アプリ取材いただきたく、お願い申し上げます。

※ 取材をご希望される場合は、以下の連絡先にご連絡ください。

■ 令和4年度まちのデータ研究室について

全4回開催（別添資料1参照）

■ 第4回「成果発表会」

行政、企業、NPO法人、高校生などの多様な参加者が研究チームを形成し、地域アプリ開発研究に取り組みました。本会では、デモセッションにおいて実際に動作するアプリを体験することができます。

○チーム&アプリ名：

- ・チームA：「坂出市デマンドバス ピンポンカモン！」（坂出市民の生活の足、バスをもっと自由に使えるアプリ）
- ・チームB：「スマホSOS」（高齢者がスマホ操作で困ったときに気軽に助けを呼べるアプリ）
- ・チームC：「マツケン！」（お祭り検索アプリ）
- ・チームD：「Kan-onji Walker」（まちに訪れる誰もが安全と魅力を発見できるアプリ）

○審査員：阪口 福太郎 氏（日本マイクロソフト株式会社 パブリックセクター事業本部

文教営業統括本部 DX推進室長 兼 Education Skills Lead）

笹野 修平 氏（iHub Base ゼネラルコミュニティマネージャー／

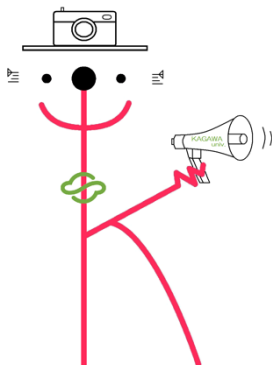
日本電気株式会社 スマートシティ事業推進部門）

横田 喜勉 氏（情報通信交流館 事業統括）

○日時：2023年1月21日（土）13:30～16:30（13:30～14:40 発表準備、14:40～16:30 発表会）

○場所：情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ BBスクエア

（香川県高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー タワー棟5階）



お問い合わせ先

香川大学 創造工学部 准教授 米谷雄介

TEL：080-3438-5749

E-mail：kometani.yusuke@kagawa-u.ac.jp

※上記不在の場合

香川大学 地域創生推進部 地域連携推進課 造田

TEL：087-832-1359

E-mail：zoda.daisuke@kagawa-u.ac.jp



研究員
募集!

地域運営をデジタル化し、地域の魅力を向上させよう

パソコンやスマートフォンを利用して地域運営をデジタル化し、地域運営組織（地域コミュニティセンター、NPO 法人、各種協会、基礎自治体など）や利用者（市民、観光客など）を含めた地域のステークホルダー全員の地域での体験を向上させながら、魅力ある地域を実現するための手法を学びます。モビリティ・マネジメント、コミュニティ・マネジメント、地域資源マネジメントをテーマとして、効果的なアプリ開発プロセスを体験していただきます。

01

香川大学の提供するノーコード・ローコード開発プラットフォームを用いた地域運営アプリのプロトタイプ開発およびプロトタイプによる課題解決アイデアの検証

地域運営アプリの開発手法

02

高松市の提供するIoT 共通プラットフォームを用いた地域データのオープンデータ化と、データの2次利用による付加価値創出

03

アイデア創出手法に基づく課題解決アイデアの創出、ならびに、共通課題に対するチーム形成およびフィールドワーク

チームの形成と地域課題解決の実践

アプリのプロトタイプを地域住民に共有することでアプリの機能を検証し、地域の運営にとって本当に必要なアプリは何かを探究してもらいます。あなたの地域課題解決アイデアを形にし、地域の改善に貢献してみませんか？

スケジュール

※詳細スケジュールおよびカリキュラムは裏面をご覧ください。

11月19日(土) 第1回 ハンズオン①

デザイン思考に基づくアプリ開発を体験してもらうため、非IT人材でもアプリ開発を実行できるノーコード・ローコード開発プラットフォームをもちいたアプリ開発手法を学びます。

11月26日(土) 第2回 ハンズオン②

各地域で収集されたデータをオープンデータ化して、データの2次利用によりさらなる価値創出につなげる手法を学びます。またIoT、AIといった先端IT技術で収集できるセンシングデータを統合することで、サービスの高度化を実現します。

12月3日(土) 第3回 アイデアソン・チームビルディング

香川大学で開発されているアイデア創出手法に基づいて、地域課題解決のアイデアを考えます。さらに共通する課題に対してチームを形成します。終了後、地域でのアプリ実践を通じてデータの充実やアプリを改善させるフィールドワークをおこないます。

1月21日(土) 第4回 成果発表会

それぞれの研究成果を研究室全体で共有していただきます。チームによるプレゼンテーションとブース展示を予定。

時間 13時30分～16時30分 (3時間) ※各日も ※途中休憩あり

講師/アシスタント



香川大学創造工学部 創造工学科・准教授 米谷雄介
(専門:ナレッジマネジメントシステム開発)

香川大学創造工学部 上回生
大学院創発科学研究科 大学院生

受講料

無料

対象・定員

対象 | 高校生以上
※18才以下は保護者の同意が必要です。

定員 | 30名 ※先着順受付

新型コロナウイルス感染症対策

本イベントは会場の定員数を減らしソーシャルディスタンスに配慮して開催いたします。参加者の皆さんには検温、マスク着用、手指消毒のご協力をお願いいたします。

申込方法や詳細は裏面へ

対象ユーザ

一般市民

課題を持っているがデジタル活用手法がわからない
地域コミュニティの運営者など

地域づくり、まちづくりに役立つデジタル活用手法を学ぶことができます。

行政職員

データ管理が得意だがそれをアプリ化する技術や適用可能な現場の課題がわからない方

デジタル活用による地域運営

地域のステークホルダーや自治体職員と関係性を構築しながら、貢献できる課題やデータ活用を学べます。

市民やデジタル人材と協力して地域課題解決のニーズや必要なオープンデータを学べます。

デジタル人材

技術を持っているが適用可能な課題がわからなかったり、データに困っている方

参加条件

- データやアプリを作って地域運営を効率化したい方、地域住民にとって魅力ある地域を作ることに興味、関心のある方で、全日程参加できる方
- 普段からパソコン、スマートフォンを学習や業務等で利用している方（アプリ開発のスキルは不要です）
- Wi-Fiにてインターネットに接続可能なノートPCを持参できる方（※OS、Versionは問いません）
- 必須条件ではありませんが、地域貢献に関心があり、地域での活躍の場を探されているIT（情報技術）に詳しい方のご参加を歓迎
- 成果物の取り扱いについてはオープンソースとし、無償で誰もが自由に改良・再配布をできるようにします

申込方法

情報通信交流館（e-とびあ・かがわ）のホームページよりお申込みください。 HPIはコチラ

申込締切 **11月13日（日）**



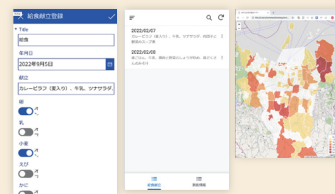
開講スケジュール／カリキュラム

#	開講日	トピック	活動内容
1	11/19（土）	パソコンやスマートフォンを使って地域運営をデジタル化しよう	地域運営（まちづくり）に資する地域運営アプリを実際に作ります。デザイン思考に基づくアプリ開発のプロセスを体験していただくため、香川大学が提供するノーコード・ローコード開発プラットフォームを用いてプロトタイプを開発し、プロトタイプに基づきアイデアを検証する方法を学びます。
2	11/26（土）	各地域の情報をオープンにすることで、地域共通の課題を解決しよう	個々の地域運営アプリから収集されるデータをオープンにすることによって地域共通の課題の解決を目指します。地域運営アプリで収集したデータを、高松市が提供するIoTプラットフォームにオープンデータ化します。それらデータの2次利用により新たな価値を創出する方法（デジタルトランスフォーメーション；DX）を学びます。また、IoTやAI等の先端IT技術で収集されるセンシングデータを統合することによって、サービスの高度化を目指します。
3	12/3（土）	・アイデアソン ・チームビルディング	「エモグラフィ」「スピードストーミング」「ハイライト」「アイデアスケッチ」「プレスリリース作成」といった手法を用いて、地域課題について共感、問題定義、アイデア創出をおこなった上で、共通の地域課題に関心のある方たちでチームを作ってもらいます。
4	12/04（日） 01/20（金）	地域でのフィールドワーク	プロトタイプを検証し、さらにデータを充実させるフィールドワークをおこなってもらいます。チームで開発したアプリを地域で共有しフィードバックを得ながら、データを充実させていきましょう。フィールドワークにおいては、アプリ稼働に必要なサーバ機能、位置情報アプリ稼働に必要なモバイル通信端末を研究室にて貸与します。また、遠隔コミュニケーションツールを提供し、アプリ改善におけるトラブル解決や質問には、講師／アシスタントが対応します。
5	1/21（土）	研究成果発表会	・プロトタイプの検証結果を展示します。 ・香川県におけるオープンデータ活用方策について意見交換します。

まちのデータ研究室のテーマとして取り上げるデータ活用アプリケーション

「こども SOS の家」の電子申請システム（登録／更新／削除）の開発および初等教育機関におけるデータ活用

地域コミュニティにおける給食献立管理システムの開発および家庭におけるデータ活用



※Microsoft Power Platform
およびIoT共通プラットフォーム FIWARE を活用